

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年3月16日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		カウンターや机等の位置を考え出来る限り指導室のスペースを広く取れるよう心掛けています。	基準を上回る活動スペースを保有しています。今後も活動スペースの工夫を心掛け、密にならないよう留意し、引き続き換気や消毒をおこなってまいります。
	2	○		配置基準を大きく上回る職員配置で運営しており、利用児童数に合わせた職員を配置しております。	利用児童数に合わせて指導員を手厚く配置していますが、今後も適切な人員の確保、配置をしております。
	3	○		特性に応じ、視覚支援等を取り入れ環境に配慮しています。現在、車椅子の利用者はいませんが、トイレに行く通路が狭く、玄関にも段差があるため、職員が付き添い、見守りながら安全面に留意して支援を行っています。	事業所は賃貸のテナントであるため、完全なバリアフリーは難しいと思いますが、今後も支援が必要な児童には職員が安全に留意しながら支援を行ってまいります。
	4	○		児童の動線や活動に合った生活空間の演出に配慮し、毎日、清掃、消毒を欠かさず行っています。	今後も清潔を保ち、コロナ感染予防対策の為に、机、椅子、玩具、車内等の消毒や換気を徹底してまいります。
業務改善	5	○		定期的な会議には全職員で参加し、児童の支援に限らず、業務改善についての話し合いを行っています。	今後も全員参加しての会議を継続し、様々な意見交換を行う場を設けてまいります。
	6	○		アンケートをもとに、保護者様の意向を把握し、職員で情報共有を行い、保護者様や児童の意向に沿って業務改善を行っています。	保護者様の貴重なご意見を真摯に受け止め、今後も業務改善に努めてまいります。
	7	○		COMPASS 発達支援センターの公式 Web サイトで公開しています。	今後も、公式 Web サイトで公表してまいります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
適切な支援の提供	9	○		各事業所、グループ全体で研修を設けていますが、今年はコロナ禍のため、研修は行えず、COMPASS 作成の動画研修を視聴し、職員の資質の向上を図っています。	少しずつ外部研修（動画配信）も開始されているため、積極的に参加して、職員と情報共有をし、さらなる資質の向上に努めてまいります。
	10	○		利用開始前にアセスメントを行い、課題などを把握し、計画につなげています。また定期的に個別面談を行い、児童の状況・保護者様のニーズを把握するように努めています。	今後も、児童の状況や、保護者様の意向を考慮して、適切に作成してまいります。
	11	○		全事業所統一で作成したアセスメントシートを活用しています。	今後も継続してアセスメントツールを活用し、児童の状況把握に努めてまいります。
	12	○		ガイドラインの各項目を盛り込み、具体的に支援内容を設定しています。またそれぞれの支援内容に沿って、わかりやすく、具体的な支援内容を設定しています。	今後もガイドラインを踏まえ、支援の状況が適切であるかどうかを勘案し、児童、保護者様と向き合っており、ご理解いただけるよう支援内容の設定に努めてまいります。
	13	○		支援計画に沿って、一人一人の発達段階に合わせた個別療育や集団療育を行っています。	今後も児童の特性や、発達に合わせた支援に努めてまいります。
	14	○		チームで案を出し合い、役割を決め、分担、協力して行っています。	職員の役割分担を考慮しワンチームとして支援できるよう努めてまいります。
	15	○		個別の療育以外にも、集団での活動（ルールのある遊びや、サーキット運動）など児童の状況を見ながら、職員間で話し合い、行事活動や療育内容に趣向を凝らしています。	今後も活動プログラムが固定化しないよう、職員と話し合いながら工夫してまいります。
	16	○		児童の発達段階に合わせ、個別活動と集団活動を組み合わせる計画を作成しています。ご利用の都度評価し、次のステップに繋げられるよう職員で話し合っており作成しています。	児童の状況を把握して、無理のない個別及び集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成してまいります。
	17	○		朝礼にて職員配置や役割分担の打ち合わせを必ず実施し、共通の認識をもって支援にあたるよう、情報共有を行っています。	今後も打ち合わせ、支援内容や役割分担について等の確認や情報共有を行ってまいります。
	18	○		児童が帰った後、その日の振り返りや、気付いた点などを報告し合い、情報共有を行っています。	今後も振り返りや気づいた点の情報共有を行い、よりよい支援に繋がれるように努めてまいります。
	19	○		本日の療育の内容や、気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等も経過記録に記録して、支援の検証と改善に繋げています。	今後も日々記録を行い支援の検証・改善に繋がれるように努めてまいります。
	20	○		定期的に個別支援会議やモニタリングを実施し、保護者様のご要望と、児童の状況を把握して、支援計画の見直しを行っています。	今後も定期的なモニタリングと計画の見直しを行ってまいります。
	関係機関や保護者との連携	21	○		児童発達支援管理責任者や管理者が参加しています。
22		○		各関係機関と連携を図り、情報共有しながら支援を行っています。	今後も関係機関と連携を図り、情報を共有して、よりよい支援が行えるように努めてまいります。
23		○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。
24		○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。
25		○		必要に応じて幼稚園や保育所と情報共有を行い、よりよい支援に繋がれるよう努めています。	今後も関係機関と連携を図り、情報共有と相互理解を図ってまいります。
26		○		相談支援員を中心とした引き継ぎを行い、支援内容の情報共有を図り、相互理解を図っています。	今後も、関係機関と支援内容の情報共有を行い、児童が移行先で有意義な生活が行えるように、相互理解を図ってまいります。
27		○		コロナ禍の為、動画配信の研修にて、各関係機関と連携を行い、情報共有に努めている。	今後も、関係機関とは積極的に連携を図り、療育、支援の情報共有に努めてまいります。
28		○		今年度はコロナ禍であるため、実施できておりません。	コロナ収束後は活動機会を検討してまいります。
29		○		今年度はコロナ禍のため自粛させていただきました。	コロナ収束後は、例年通り積極的に参加してまいります。
30		○		送迎時等にご家庭での児童の様子をつかったり、事業所での様子をお伝えすると共に、達成できたことや、課題について情報共有を行っています。また保護者様や児童に寄り添うことを心掛け、共通理解に努めています。	今後もあらゆるツールを使用して、積極的に保護者様と情報交換を行い、共通理解に努めてまいります。
保護者への説明責任等	31	○		ペアレントトレーニングについては保護者様のお悩みや状況に配慮しながら、その都度、適切なアドバイスができるように努めています。	今後も保護者様のニーズに応えられるよう、寄り添った支援を心掛けてまいります。
	32	○		契約時には、丁寧に説明するように心掛けています。	今後も同様に、わかりやすく丁寧な説明に努めてまいります。
	33	○		児童発達支援ガイドラインに沿った支援計画を作成し、保護者様に十分にご説明を行ったうえで同意を得ています。	今後もガイドラインに沿った適切な支援計画を作成し、保護者様にわかりやすく説明できるよう努めてまいります。
	34	○		連絡帳への記載、電話、送迎時等に保護者様からのご相談を受けますが、その都度、迅速な対応を心掛けて、保護者様に寄り添いながら、児童の状況を踏まえた適切な助言、支援を行っています。	今後も保護者様に寄り添いながら、適切な助言や、支援が行えるように努めてまいります。
	35	○		本年度は感染拡大防止の観点より、父母の会の活動支援や保護者会などは控えています。	保護者様のご意向を確認すると共に、コロナ収束後は保護者会等との企画の検討を再開するほか、感染拡大防止の観点から、オンライン等での交流等についても検討してまいります。
	36	○		契約時にもご説明している苦情窓口が対応に努め、申し入れ等があった場合には、相談内容に応じて適任者が迅速な対応を行っています。	今後も迅速な対応を心掛け、早期解決に取り組んでまいります。
	37	○		季節ごとに「COMPASS だより」を発行し、また公式 Web サイトでは、最新情報の他、毎日事業所の活動内容がブログで紹介されています。	今後も情報発信を継続し、保護者様に児童の様子や活動を知っていただけるように努めてまいります。
	38	○		個人情報の取り扱いには慎重に行い、書類は施錠できる場所に保管しています。また児童の写真掲載等は、書面にて保護者様の同意を得た上で掲載しています。	今後も引き続き個人情報の取り扱いについては、細心の注意をはらってまいります。
	39	○		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしています。	今後も児童、保護者様の特性を配慮したうえで、的確な情報伝達を心がけてまいります。
	40	○		現時点では、コロナ禍のため地域の方をご招待するなどの企画に至っておりません。	保護者様によっては通所を秘匿された方をご招待するなどの企画に至っておりません。
非常時等の対応	41	○		各種マニュアルを策定し、見やすい場所に掲示を行っています。感染症対応に関しては、流行シーズンに合わせて対応方法のシミュレーションを行っており、防災訓練については、定期的に様々な状況を想定した訓練を実施しています。	今後も継続し、同様に行っていきます。
	42	○		定期的に、地震・火災等を想定した訓練を実施しています。	現在はコロナ禍であるため施設のみでしか防災訓練を行っているため、今後、行政の協力を得ながら訓練を行ってまいります。
	43	○		アセスメントやモニタリング等で、必要な情報を詳細に把握し、全職員に周知しています。	今後も児童の健康に関する状況を把握し、安全に配慮してまいります。
	44	○		アレルギー調査票にて確認を行い、アレルギー児童のリストを作成の上、全職員で情報共有し対応しています。	医師の指示書頂くような重大なアレルギーの児童の在籍はありませんが、今後も保護者様や職員と情報共有し、アレルギーをおこさないよう細心の注意で対応してまいります。
	45	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しています。	引き続き記録、話し合いを行い、再発防止に努めてまいります。
	46	○		児童発達支援管理責任者や管理者が研修に参加し、職員に情報共有を行っています。また職員研修をおこない、虐待防止マニュアルに沿って対応しています。	今後も継続的な研修によって、虐待についても組織的な研修で、決して起こさないよう全職員で意識を高め、認識一致を図ってまいります。
	47	○		現在、身体拘束が必要な児童の受け入れはありませんが、利用契約書には身体拘束の禁止を記載しており、生命または健康を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者様の同意を得ることとしています。	今後、身体拘束の可能性のある児童の受け入れについては、事前に十分な事前説明と、保護者様の同意を得て、支援計画に記載するように努めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。